



議 会

によどがわ

だより

2008.11
第13号



だんだんはNHKの朝ドラ
だんだんよは旧仁淀村地推協の挨拶標語
“地域に活力を” 長者の「だんだんくらぶ」の活動が目につく（写真は昨年のキャンドルナイト） 今年は12月6日（土）点灯

九月
定例会

立候補の予定は…2P

柳野工区の早期完成を…5P

(株)ソニアは大丈夫か…9P

県外視察研修…10・11P

「池川茶」 一等一席に…12P



狩山地区老人クラブとの交流会（池川保育園）

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

一 般 質 問

9月定例議会は、9日・10日・11日に開催。町長提出の報告1件、平成19年度一般会計及び特別会計の決算認定7件、条例改正、補正予算等7件、教育委員の選任等人事案件4件、議員提案の議会会議規則の一部改正を可決。

一般質問は8人が町政の当面する課題に活発な議論を展開した。

来夏の町長選は

町長選

立候補の予定は

答

考えていない…町長
思案中…副町長



大石副町長



藤崎町長

問

野村安夫

来年の町長選挙に、現町長は立候補するのか。

答

町長

一定の方向付けはできなかったので、再出馬は全く考えていない。

これからの首長は、パソコンなどを有意義に使用、豊富な知識による企画、立案、実行できる人に託したい。

問

野村

副町長の町長選立候補の予定はあるのか。これからのまちづくりの構想は。

答

副町長

町長選は思案中である。活性化対策は、策定中の「高知県産業振興計画」に基づき県や国に強く働きかけ、議会や職員

問

野村

有機無農薬野菜作りの推進、茶のブランド化、森林資源を活用し、活性化を図れ。

答

副町長

茶は厳しい状況だが関西品評会では優秀な成績であった。これをバネに有利な販売方法を考えた。

その他有機農業推進や、木材利用に関しても、前向きに対応したい。

に協力を得、住民の目線に立った福祉の向上に努める。
90%を占める森林、茶、トマト、柿、シキミ等、特性を生かして地産地消を推進し、農林業の再生が重要である。「自然と調和した魅力と活力あるまちづくり」を目指す。

防災無線

聞こえない地区がある

答 調査し対策を考える

問

野村

ある地区では、設置場所が悪く、住民から苦情が出ているが。

答

池川住民課長

屋外子局は、地区住民や区長と相談して町内で133箇所設置している。

放送開始後、音切れ、音声の劣化など問題個所が13箇所発生し、9箇所は改修を終了。残りも万全を期して対策にあたっている。

問

野村

苦情の出ている地区は細長く高低差がある。設置場所が低いため中腹から奥ではほとんど聞こえない。
住民と相談の上設置し

たと聞くが納得していない。

答

池川住民課長

区長などを通して相談、地区住民全体の話し合いではない。
スピーカーから遠い個所は池川地区では107

問

野村

個の個別受信機で対応している。

半数以上が聞こえない状態なら、屋外子局を地区の中心に移動できないか。

答

池川住民課長

家が散在している地域では、全体の感度が良くなることは不可能で、個別受信機で対応したい。状態が悪ければ調査し対策を考える。

議長一ロメモ！

若者から高齢者までインターネットの利用者が増えている。

買い物、旅行、将棋や囲碁の娯楽まで情報収集ができる。しかし、便利になったと喜んでばかりはいられない。

出会い系サイトの被害や詐欺が急増

し、お隣の韓国ではトップ女優が、ブログによる根も葉もない書き込みが原因で自殺をしたとのことである。

人は十人十色といい、性格や考え方が違うのは当然だが、他人を批判するのなら自分の身分を明かした上で、正々堂々と正面から主張するべきではないだろうか。

正しいことでも陰で言うとは誹謗中傷と、思われることもある。

若藤 敏久



個別受信機

スピーカーから遠い個所は個別受信機で対応。池川地域には107個を設置している



ヘリポートの 使用方法に疑義

答 慎重に対処したい

重に対処したい。

問

藤原陽三

平成15年3月、葛原にヘリコプター離着陸場が完成、救急患者の輸送、災害発生時に人や物資の輸送拠点となっている。

最近この土地関係者で現状の使用方法に納得のいかない方がいる。7月15日、消防や関係者が現場で協議したが、結果は出なかったようだ。土地の返還をすぐに求めるものではなく、現状は無償で提供しているが、将来は資材置き場などにしたい意向である。

答

町長

設置場所は、気流や構造物の有無、アクセス等の様々な条件があり、現在の場所是最適である。他の地権者にも配慮し慎重に対処したい。



平成15年3月に完成したヘリポート（葛原）

問

藤原

前向きに、解決策を図るべきである。他に適地があれば実現に向け努力すべきだ。

答

町長

適地の検討はすべきと

思う。気流や障害物の問題もあり検討したい。

現在の土地は道路の改良により山を整地した。それを防災ヘリ「りょうま」が上空から見、県から問い合わせがあり設置した。

人命に関わる問題であり、他の地権者の意見も聞き慎重に進めたい。

鳥獣被害が拡大している

答

駆除と平行して
進入防止さくも検討

問

坂本伝一

鳥獣駆除は被害者から町に届出があった時点で猟友会が駆除を行っているが、拡大する鳥獣被害の対策を早急に取り組むべきでは。

答

町長

被害報告があればボランティアで猟友会やワナの有資格者に90日の狩猟許可を与え駆除している。今後は県と対策を協議し、農作物への侵入防止さくなどの制度事業を活用し駆除対策をする。

問

坂本

昨年の駆除の実績は。

答

産業建設課長

猪19頭、猿4頭、その他62頭。補助金は約30万円出している。

問

坂本

助成金はあるか。

答

産業建設課長

県の補助で有害駆除対策事業がある。

問

坂本

捕獲する人を増やし駆除対策を。

答

産業建設課長

狩猟人口も減り、猟銃の許可も取らないと駆除もできない。



ワナで捕獲されたイノシシ（大板）



管理職手当に差があるが

答

本所の課長、支所長は
5000円多い

本所の課長は旧吾川分も兼ねている。仁淀、池川も含めた仕事をしているので差があつてしかるべきである。

答

町 長

手当に差があることはおかしい。支所の課長も議会に出席し答弁も行い、仕事も十分している。同額にし皆一緒に町のため頑張ってもらいたい。

問

橋 本

手当は管理、監督の地位にある職員に支給している。予算、条例策定、議会、本所と支所の調整用務などを考慮し、本年4月より定額支給に規則を改正。本所課長、支所長に月額2万5000円、支所課長は2万円である。

答

副町長

問

橋本眞一

本所と支所の管理職手当に差があるが。

439号

柳野工区の早期完成を

問

橋 本

6月の高知新聞で「国道439号需要再評価を総務省が要請」の報道があつたが、本町関係工区で指導があつたか。関係する工事の概要も聞く。

答

町 長

総務省では政策評価、実効性の確保を目的、内容に踏み込んだ点検を行い疑義のあるものは評価の見直しを行う。
439号柳野工区が交通量の需要予測に疑問があるとして、国土交通省に指摘があつた。
柳野工区は橋梁3箇所、トンネル1箇所を含む720mで残事業量23億7500万円。今後見直しもあると思う。

問

橋 本

439号改良は地区民も早期完成を望んでいる。

答 県と一緒に活動していく

一丸となつて運動ができないか。

答

池川支所長

非常に重要な道路で、住民からも要望がある。県と一緒に活動をしていく。



国道439号の仁淀川町の町間は残り柳野工区（720m）だけとなった。早期完成が望まれるが。